



eisuu伊藤奈緒COOが語る

二〇二〇年度から大学入試制度が大きく変わります。現行の大学入試センター試験に代わって大学入学共通テストが導入され、英語では民間検定試験も採用されます。そこで、県内を中心に広く学習塾を展開するeisuu(津市)の最高執行責任者(COO)、伊藤奈緒さんに新しい大学入試について、変更内容や入試改革の背景など三回にわたって寄稿してもらいます。一回目は「大学入学共通テスト」の具体的な特徴を解説してもらいました。

④ 共通テストの特徴

見られます―資料参照。まず「国語」「数学IA」「数学II」では、現行のセンター試験が全問マークシート式だったのに対し、今回の共通テストでは「思考力、判断力、表現力」を問う記述問題が各三問ずつ出題され、特に国語は最大百二十字程度の記述が要求されます。これが現行のセンター試験と同様のマークシート式問題に加わるため、「国語」が八十分から百分、「数学IA」は六十分から七十分で試験時間が延長されます。次に「英語」では、今までの「筆記」から発音、アクセントなど知識を単発的に問う問題がなくなり、全てにおいて読解を

	大学入試センター試験	(新)大学入学共通テスト
実施期間	2020年1月で終了	2021年1月から開始
測定する力	「知識・技能」を問う問題中心	「思考力・判断力・表現力」も重視
国語	マークシート式 80分/大問4問	マークシート式+記述式(3問、最大120字) 100分/大問5問
数学IA	マークシート式 60分	マークシート式+記述式(3問) 70分
英語	筆記200点/80分 +リスニング50点/30分 ※筆記には発音・アクセント・語句整序を単独で問う問題が含まれる	リーディング100点/80分 +リスニング100点/60分 ※リーディングには発音・アクセント・語句整序を単独で問う問題は含まれない

2024年度から地歴・公民や理科も記述式を検討

重視する「リーディング」へと変わります。「リスニング」が全配点の半分を占め、解答時間も二十分から六十分に倍増するなどウエイトが非常に大きくなります。さらに文部科学省から発表さ

れている資料や大学入試センターが行ってきた試行調査などを見る限り、どの教科でも、実社会のさまざまな問題をいかに解決するかという観点から作られた問題が増えていきます。例えば、国語では、生徒会の執行部会が部活動を巡る課題にどう取り組むかを題材とし、関係人物がどんな根拠で何を発言するかを予想して記述させる問題が出されています。数学でも、建築物の階段を指定された勾配で設計するために必要な条件を求めさせる問題など、実社会の課題解決に直結する性格を持った問題が数多く見られます。

いとう・なお 松阪市生まれ。県立津高校、関西学院大を卒業。2000年、eisuuに入社。10年、同高校部COO(最高執行責任者)、14年、同COO。年間約100回のセミナー、講演会をはじめ新聞、広告、テレビ、ラジオ、インターネットなどで常に大学入試の最新情報を発信する。現在は三重地域イノベーション学研究所博士課程に在籍。



伊勢湾フェリーフォトメイック 中日屋 鳥羽市から愛へ向かう伊勢湾船上で二十四日トメイックの撮影中日写真協会の六人が船旅と撮りだし写真。伊勢湾フェリーした写真コンテ新聞社など主催ベント。鳥羽港船のダイヤモンスが寄港しておは大きな船体にカメラを向けたフォトメイックと内田帆南さ

新大学入試の目的は、実社会の課題を主体的に解決できる人材を育成するため、「知識、技能」「思考力、判断力、表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の三要素を備えた真の学力を評価することです。新入試の中心になるのは、二二年一月から始まる大学入学共通テストです。大きな変更は「国語、数学、英語」に

国数に記述、英も学習負担増

文章の文字量、資料の種類が増えるのも特徴で、例えば、一九九二年度の国語の評論文では総字数が約四千二百字なのに対し、直近の試行調査問題では約九千九百六十字、英語では全問題の総単語数が九二年度で二千六百二十語に対し試行調査問題で五千三百二十六語となるなど、(次回は十月二日付の予定です)

は初戦

第七十二回秋季東海地区高校野球大会は二十四日、県営松阪球場で準決勝二試合があった。津商が松阪商に3-1、近大高専が三重に6-5で勝利し、決勝進出を決めた。二十八日の決勝で、津商は五十二手ぶ

▽準決勝
◆県営松阪球場
松阪商 0000002001
阪商 0000010001
13
(津)出口 清水
(松)阪本、松山、山崎、北村

死三塁、清水の左前適時打で同点。一死一、二塁から佐藤の右前打に敵失が絡み1点を勝ち越した。投げたのは先発出口が要所を締め、被安打5、1失点で完投。

前適時打で先制したが、その後は散発2安打に終わりが好機をつくれなかった。

▽準決勝
◆県営松阪球場
近大高専 0010003000165
(三)尾崎謙、松山、菊池、服部
(近)箕延、白石、北川

回1死満塁から前2点適時打で小林も中前適時相手を突き放しは、二番手白石球でリードを守三重は九回1

の決勝で、津商は五十二手ぶ